

研究活動状況 (2019 年 1 月～12 月)

掲載は 50 音順による

分類記号は下記の通り

[A]単著 [B]共著 [C]論文

[D]ノート・資料・その他 [E]学会報告

○ 旭 貴 朗

- [D] 「CAST 言語による神経網のモデル (予備実験)」技術資料 <http://www2.toyo.ac.jp/~asahi/research/simulation/> (東洋大学 (教員 Web)、2019 年 3 月 29 日)

○ 李 キョンテ

- [C] 「消費者マテリアリズムの先行要因と結果に関する一考察」『経営論集』第 93 号、pp.45-63 (東洋大学経営学部、2019 年 3 月)
- [C] 「消費者の自発的簡素と物質主義が生活満足度に及ぼす影響」『商品開発・管理学会』第 16 巻第 1 号、pp.3-20 (商品開発・管理学会、2019 年 9 月)
- [C] 「E サービス品質がインターネット・ショッピング・モールに対する満足と意図に及ぼす影響—顧客間ノウハウ交換との統合的分析—」『流通』第 45 号、pp.33-46 (日本流通学会、2019 年 12 月)
- [E] 「Does Voluntary Simplicity Matter in Online Shopping Behaviour?」(International Business Research Conference (Track: Management and Marketing)、第 53 回、Monash Conference Centre, Melbourne, Australia、2019 年 11 月 22 日)
- [E] 「オンライン・チャネルにおけるサービスとロコミの役割」(日本流通学会、関東・甲信越部会 2020 年度第 1 回研究会、東洋大学白山キャンパス、2019 年 12 月 14 日)

○ 石 田 実

- [C] 「日本型 CMO の現状と展望 — CMO は業績にどの程度貢献しているか —」『マーケティングジャーナル』(vol.39 No.1, pp.24-42) (日本マーケティング学会、2019 年 6 月 28 日)
- [C] 「コミュニティ関連研究の活況の考察 —計量書誌学とメタアナリシスによる調査—」『経営論集』(94 号, pp. 13-24) (東洋大学経営学部、2019 年 11 月 30 日)
- [E] 「コミュニケーションにおける共感の効果」(日本マーケティングサイエンス学会、第 106 回研究大会、株式会社電通 (東京)、2019 年 12 月 1 日)

○ 今 泉 淳

- [E] 「Branch-and-price for the Split Delivery Vehicle Routing Problem」(OPERATIONS RESEARCH 2019, The annual scientific conference of the

national Operations Research Societies of Germany (GOR e.V.) , Austria (ÖGOR) and Switzerland, Dresden, Germany, 2019 年 9 月 4 日)

- [E] 「Optimization of Rolling Stock Rostering using Mutual Direct Operation」 (OPERATIONS RESEARCH 2019, The annual scientific conference of the national Operations Research Societies of Germany (GOR e.V.) , Austria (ÖGOR) and Switzerland, Dresden, Germany, 2019 年 9 月 6 日)
- [E] 「分割を許す配送計画問題に対する列生成法の適用」 (スケジューリング・シンポジウム 2019、筑波大学春日キャンパス、茨城、2019 年 9 月 19 日)
- [E] 「L-shaped Method for the Stochastic Vehicle Routing Problem」 (2019 IEEE International Conference on Industrial Engineering & Engineering Management, Macau, China, 2019 年 12 月 16 日)

○ 王 学 群

- [C] 「“有 (一) 点 (儿)” は副詞か?」『研究会報告 (連語論研究 X)』第 44 号 ,p.95-104 (国際連語論学会、2019 年 2 月 15 日)
- [E] 「“別 / 不要……” と “別 / 不要……了”」 (日中対照言語学会、第 41 回大会 (2019 年度春季大会)、明海大学、2019 年 5 月 19 日)
- [E] 「日中対照研究—日本語の「～力」と中国語の“……力”を中心に—」 (日中対照言語学会、2019 年 7 月例会、東洋大学、2019 年 7 月 20 日)
- [E] 「日本語の「～力」と中国語の“……力”」 (漢日対比言語学研究 (協作) 会、第十一届汉日对比语言学研讨会、西安外国語大学、2019 年 8 月 24 日)

○ 庵 谷 治 男

- [C] 「管理会計の利用が直接・間接部門の水平的インタラクションに与える影響—A 社の事例に基づく探索的研究—」『メルコ管理会計研究』(第 11 号・Ⅱ・pp.25-43) (メルコ学術振興財団、2019 年 5 月)
- [D] 『基礎管理会計』その他 (共著テキスト) (中央経済社、2019 年 4 月 1 日)

○ 大 坪 宏 至

- [C] 「ソフトグローバルな思考を目指して」『人間と科学』(第 26 号・7-21 頁) (人間と科学研究学会、2019 年 3 月 31 日)
- [C] 「2018 年度診療報酬改定について—基本方針を中心に—」『人間と科学』(第 26 号・22-31 頁) (人間と科学研究学会、2019 年 3 月 31 日)
- [C] 「2019 年度診療報酬改定について—項目別検討—」『人間と科学』(第 26 号・32-41 頁) (人間と科学研究学会、2019 年 3 月 31 日)

○ 大 原 亨

- [B] 『スモールビジネスの経営力創成とアントレプレナーシップ』第 5 章・東洋大学経営力創成研究センター編 (学文社、2019 年 3 月 20 日)
- [C] 「ベンチャー企業と大企業とのマッチング成立要件」 (中野剛治との共著)『現代

社会研究』(第 16 号)(現代社会研究所、2019 年 3 月 10 日)

- [C] 「Omiai: Japanese initial private offering.」(中野剛治との共著)『Annals of Business Administrative Science』(Vol.18, No.2)(Global Business Research Centre、2019 年 4 月 15 日)

○ 越 智 信 彰

- [C] 「Large-area Measurements of the Night Sky Brightness Using the Sky Quality Meter: 2010-2018 Data」『東洋大学紀要自然科学篇』(第 63 号 pp.1-13)(東洋大学、2019 年 3 月)
- [E] 「Protecting Dark-Sky Places in Japan: a designated Dark-Sky Park and more potential sites」(14th European Symposium for the Protection of the Night Sky, Ireland、2019 年 11 月 5 日)

○ 金 子 友 裕

- [A] 『法人税法入門講義』第 3 版(中央経済社、2018 年 3 月 1 日)
- [B] 『IASB の概念フレームワーク』分担執筆 9 章・岩崎勇編著(税務経理協会、2019 年 5 月 1 日)
- [B] 『日本簿記学説の歴史探訪』分担執筆 9 章・上野清貴編著(創世社、2019 年 3 月 20 日)
- [B] 『会計学と租税法の現状と課題』分担執筆 23 章・菊谷正人編著(税務経理協会、2019 年 3 月 30 日)
- [B] 『会社決算書アナリスト試験公式テキスト』第 2 版 分担執筆 9 章・資格教育推進機構編(ネットスクール出版 2019 年 3 月、2019 年 3 月 5 日)
- [C] 「IASB が公表した 2018 年概念フレームワークにおける測定基礎の特質」『ディスクロージャー & IR』(8 号・pp.106-112)(ディスクロージャー & IR 総合研究所、2019 年 2 月 1 日)
- [C] 「企業が考える税務会計教育への課題と期待」(共著)『産業経理』(79 巻 1 号・pp.194-207)(産業経理協会、2019 年 4 月 25 日)
- [C] 「法人税法における「増資」の検討」日税研論集『純資産の部の総合的検討』(76 号・pp.65-93)(日本税務研究センター、2019 年 7 月 20 日)
- [C] 「税務会計を検討する視点」『税務会計教育における現状と段階的教育への試み』(日本会計教育学会特別プロジェクト最終報告書) pp.1-8(日本会計教育学会、2019 年 9 月 12 日)
- [C] 「法人税法能力検定の意義と問題点」(共著)『税務会計教育における現状と段階的教育への試み』(日本会計教育学会特別プロジェクト最終報告書) pp.95-107(日本会計教育学会、2019 年 9 月 12 日)
- [C] 「アンケート調査を通じた企業が考える税務会計教育」(共著)『税務会計教育における現状と段階的教育への試み』(日本会計教育学会特別プロジェクト最終報告書) pp.108-118(日本会計教育学会、2019 年 9 月 12 日)
- [C] 「税務会計教育における現状と段階的教育への試み」『税務会計教育における

現状と段階的教育への試み』(日本会計教育学会特別プロジェクト最終報告書)
pp.164-169 (日本会計教育学会、2019年9月12日)

- [C] 「FASBの概念フレームワークにおける測定の議論の変遷について」『FASB及びIASBの概念フレームワークについての歴史的考察』(日本会計史学会スタディ・グループ最終報告書) pp.99-115 (日本会計史学会、2019年10月26日)
- [D] 「時価算定会計基準案の概要」その他『日税研メールマガジン』(146号・1-6頁)
(日本税務研究センター、2019年5月15日)
- [D] 「企業会計基準第30号「時価の算定に関する会計基準」の概要」その他『日税研メールマガジン』(153号・1-8頁)(日本税務研究センター、2019年12月16日)
- [E] 「税務会計教育における現状と段階的教育への試み」(日本会計教育学会、日本会計教育学会第11回全国大会、事業創造大学院大学、2019年9月12日)
- [E] 「会計の視点からみた税務会計教育」(日本会計教育学会、日本会計教育学会第11回全国大会、事業創造大学院大学、2019年9月13日)

○ 川 崎 健太郎

- [B] 『グローバル化と基軸通貨 ドルへの挑戦』第7章 東アジアにおける経済統合の進展と基軸通貨ドル——「アジア域内金融システム」の可能性、小川英治編(東京大学出版会、2019年7月25日)
- [E] 「"Adopting the Industry-Specific G-PPP Model into the Major Manufacturing Sectors in East Asia"」(Singapore Economic Review、SERC 2019、Singapore、2019年8月6日)

○ Cara Phillips

- [C] 「The Most Popular and Effective English-Learning Apps」経営論集 93号(東洋大学の経営論集、2019年3月15日)

○ 久 世 恭 子

- [A] 『文学教材を用いた英語授業の事例研究』(394ページ)(ひつじ書房、2019年10月31日)
- [C] 「グローバル人材に必要な能力についての一考察—アジア地域若手駐在員へのインタビューから—」『経営論集』第94号、pp.57-68。(東洋大学経営学部、2019年11月)
- [E] 「コースの「一部」で使う文学教材—*Pygmalion*を用いた英語授業の実践から—」(優秀発表賞受賞)(日本国際教養学会、第8回全国大会、兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス、2019年3月16日)
- [E] 「Incorporating literature and film into a non-literary course: A case study in a Japanese university EFL class」(Literature in Language Learning and Teaching (AILA Research Network)、LiLLT Conference 2019、University of Erfurt, Germany、2019年8月31日)

○ 幸 田 浩 文

- [B] 『『スモールビジネスの経営力創成とアントレプレナーシップイノベーションとグローバル化の実現に向けて』第7章「起業家精神と起業家教育」東洋大学経営力創成研究センター編（学文社、2019年3月20日）
- [C] 『『日本四大売薬』にみる行商圈の構築・発展・転換過程—江戸中期から明治期まで—』『経営力創成研究』（第15号・4・19頁）（東洋大学経営力創成研究センター、2019年3月16日）

○ 後 藤 亘

- [C] 「The Principle of Determinacy and Its Implications for MERGE.」 Proceedings of the 12th GLOW in Asia & 21st SICOGG (pp. 91-110, 2019年10月)
- [C] 「Taming Free Merge Further - Sub-Extraction and its Kin.」 Proceedings of the Thirtieth Western Conference on Linguistics (Vol. 23, pp. 82-93) (California State University, Fresno (Western Conference on Linguistics)、2019年9月)
- [D] 「Call to Action」教科書（共著）（播磨書院、2019年9月）
- [E] 「When and How Does Search Take Place?」(The 45th Incontro di Grammatica Generativa (IGG45)、Università degli Studi di Padova, Padova, Italy、February 21-23, 2019)
- [E] 「MERGE + Determinacy in Phase Theory: A Comparative Study of Movement Restrictions」(The 8th Cambridge Comparative Syntax Conference (CamCos8)、the University of Cambridge, United Kingdom、May 2-4, 2019.)
- [E] 「When and How Does Search Take Place?」(The 12th ELSJ International Spring Forum、University of the Sacred Heart, Toyo, Japan、May 11-12, 2019)
- [E] 「C-Hiding by Head Movement」(The 29th Colloquium on Generative Grammar (CGG29)、the Universidad de Castilla-La Mancha, Ciudad Real, Spain、May 22-24, 2019)
- [E] 「Conspiracy of MERGE and Determinacy: A New Analysis of Movement Phenomena」(The 29th Colloquium on Generative Grammar (CGG29)、the Universidad de Castilla-La Mancha, Ciudad Real, Spain、May 22-24, 2019)
- [E] 「The Principle of Determinacy and Its Implications for MERGE」(The 12th Generative Linguistics in the Old World in Asia and the 21st Seoul International Conference on Generative Grammar (GLOW-in-Asia XII & SICOGG 21)、Dongguk University, Seoul, Korea、August 7-9, 2019)
- [E] 「Determinacy Theory of Movement」(The 50th Annual Meeting of the North East Linguistic Society (NELS 50)、MIT, Cambridge, Massachusetts, United States、October 25th-27th, 2019)
- [E] 「Head Hiding」(The 50th Annual Meeting of the North East Linguistic Society (NELS 50)、MIT, Cambridge, Massachusetts, United States、October

25th-27th, 2019)

- [E] 「A Conspiracy of Feature-Inheritance and Pair-Merge」 (The 37th Annual Meeting of The English Linguistic Society of Japan, Kwansei Gakuin University, Osaka, Japan, 9-Nov-19)

○ 坂 口 誠

- [B] 『野田市史』資料編近現代2 第2編第1章～第2章第1～2節・第4節の史料編纂(326～423頁, 428～439頁) および解説執筆(317～323頁(ただし, 322頁上段21行目～下段23行目を除く))・野田市史編さん委員会(野田市、2019年2月21日)
- [C] 「大正期の野田商誘銀行」『野田市史研究』第29号, 3-29頁(野田市、2019年3月25日)

○ 佐 藤 洋 一

- [B] 『比較文化から見るグローバリゼーション』pp. 32-41(英光社、2019年9月30日)
- [C] 「Exploring the Possibility of Using Authentic English Materials in Requisite English Classes in the Faculty of Business Administration」『経営論集』93号(pp. 139-150)(東洋大学経営学部、2019年3月)
- [C] 「Investigating the Trajectory in L2-User Identities and Leadership Through Project-Based Learning: A Case Study of Two Japanese University Students」『経営論集』94号(pp. 41-55)(東洋大学経営学部、2019年11月)
- [E] 「Training a Newly Employed Corporate English Trainer: An Auto-Ethnographic Case Study」(Korean Association for Business Communication, Business Communication & Value Creation Practice、韓国(チェジュ島)、2019年3月30日)

○ 里 吉 清 隆

- [C] 「混合分布モデルによる株価データの分析」『経営論集』93巻, 107-121(東洋大学経営学部、2019年3月)
- [C] 「株式市場の短期的トレンドを考慮したリスク・リターン分析」『経営論集』94巻, 25-39(東洋大学経営学部、2019年11月)

○ 調 勇 二

- [E] 「統合報告と利益調整」(日本会計研究学会、第78回大会、神戸学院大学、2019年9月9日)
- [E] 「Integrated Reporting and Earnings Management」(Australasian Finance and Banking Conference、第32回大会、シドニー、2019年12月17日)

○ 杉 山 晶 子

- [B] 『IASB の概念フレームワーク』(分担執筆) 第 10 章「表示及び開示—純損益を中心に据えた財務業績の開示の意味—」(pp.149-167) 岩崎勇 編著(税務経理協会、2019 年 5 月 1 日)
- [C] 『FASB 及び IASB の概念フレームワーク についての歴史的考察 —最終報告書—』(分担執筆) 第 6 章「FASB と IASB の概念フレームワークの歴史と公正価値導入の意義」(pp.116-132) 主査 岩崎勇(日本会計史学会 スタディ・グループ、2019 年 10 月 26 日)
- [D] 関税・外国為替等審議会 関税分科会 委員、同審議会 外国為替等分科会 委員(平成 29 年 3 月 13 日~平成 31 年 3 月 12 日、令和元年 3 月 13 日~:財務省)。公認会計士試験委員(平成 30 年 12 月 1 日~平成 31 年 11 月 30 日、令和元年 12 月 3 日~令和 2 年 11 月 30 日:内閣府)。
- [E] 『FASB 及び IASB の概念フレームワーク についての歴史的考察 —最終報告書—』(共同報告)(日本会計史学会、第 38 回大会、九州大学、2019 年 10 月 26 日)
- [E] 「純損益を中心に据えた財務業績の開示の意味 —IASB 概念フレームワーク 2018 によせて」(会計ワークショップ、東京大学経済学研究科学術交流棟(小島ホール)、2019 年 4 月 27 日)

○ 鈴 木 寛

- [B] 『地域マーケティングのコンテキスト転換—コンステレーションのための SSR モデル』 第 10 章「名所①=神話や伝説に感じる神秘性を捉えた宮崎県のコンテキスト転換」(学文社、2019 年 8 月 30 日)
- [D] 「地域特性を生かしたブランド戦略」 研究ノート 地域デザイン研究、第 14 号、165-164 頁。(地域デザイン学会、2019 年 9 月 30 日)
- [D] 「印刷広告における顔の掲載有無と視線の方向—アイトラッキングによる消費者反応の調査」その他(翻訳) Page, B., Zachary Anesbury, Sophia Moshakis and Alicia Grasby, (2018), "Measuring Audience Reach Of Outdoor Advertisements: Using Bluetooth Technology To Validate Measurement," Journal of Advertising Research, 日経広告研究所報、第 53 巻 3 号、65-68 頁。(日経広告研究所、2019 年 6 月 1 日)
- [D] 「ブランドは社会的大義(コーズ)のサポートをどう宣伝すべきか」 その他(翻訳) Benedetta Crisafulli, Jaywant Singh and La Toya Quamina (2019), Tackling global challenges through cause-related marketing How brands should promote their support to social causes," ADMAP, 広研レポート OnLine (日経広告研究所、2019 年 6 月 29 日)

○ 住 谷 宏

- [A] 『現代のチャネル戦略—チャネル戦略研究への招待—』(同文館出版、2019 年 9 月 10 日)

○ 関 勝 寿

- [C] 「Estimation of electrical conductivity of a soil solution from the monitored TDR data and an extracted soil solution」『International Agrophysics』(Vol. 33 no.1 pp.113-119) (Institute of Agrophysics, Polish Academy of Sciences、2019 年 2 月)
- [C] 「水分特性曲線の回帰プログラム SWRC Fit (3) — 回帰アルゴリズム —」『東洋大学紀要自然科学篇』(第 63 巻 pp.29-39) (東洋大学、2019 年 3 月)
- [D] 「肥料成分の自動計測につながる土壌水の電気伝導度簡易モニタリング手法」『東洋大学研究シーズ集 2019-2020』p.58 (東洋大学、2019 年 8 月)
- [E] 「土壌溶液の電気伝導度モニタリングのための Rhoades パラメータ決定手法」(農業農村工学会、第 68 回全国大会、東京農工大学、2019/9/4)

○ 徐 寧 教

- [C] 「Resource-based venturing: The case of Venture Whisky.」Annals of Business Administrative Science, 18 (5) , pp. 171-181. (Global Business Research Center、3-Oct-19)
- [C] 「Centralization and decentralization of Global knowledge transfer structure: A comparative study on Toyota and Hyudai's production system transfer」The journal of japanese operations management and strategy, Vol.9, No.1 pp. 34-47 (オペレーションズ・マネジメント & ストラテジー学会、2019 年 3 月)
- [E] 「留学生としての私の研究履歴」(国際ビジネス研究学会、第 26 回全国大会、立命館大学いばらきキャンパス、2019 年 11 月 10 日)

○ 宋 元 旭

- [E] 「User innovation and corporate strategic contribution.」(ABAS Conference、2019 Summer: part1、University of Tokyo、2019 年 7 月 22 日)

○ 竹 内 亮 介

- [C] 「広告に露出した消費者の情報処理：広告回避と広告記憶」博士学位請求論文 (pp.1-191) (慶應義塾大学商学研究科、2019 年 11 月 12 日)
- [E] 「広告回避意思決定における消費者の動機づけの役割」(日本商業学会、関東部会 4 月部会研究会、上智大学、2019 年 4 月 20 日)

○ 寺 畑 正 英

- 「学生生活から職業生活への移行—若者の教育とキャリア形成に関する調査の二次分析から—」経営論集 (東洋大学) (第 94 号・pp. 1-12) (東洋大学経営学部、2019 年 11 月 30 日)

○ 塚 田 朋 子

- [C] 「グローバル・ファッション・ビジネスと快楽消費」『経営論集』93 号 pp.29-43

(東洋大学経営学部、2019年3月)

- [D] 「ヘドニックな交換と科学的方法」研究ノート 『経営論集』94号、pp.69-80
(東洋大学経営学部、2019年11月)

○ 角 田 奈 歩

- [E] 「Textile beyond Fibers: Laces in the 17th-19th Centuries」(Linking Cloth-Clothing Globally / Global History and Culture Centre of the University of Warwick, Symposium "Textiles and Materiality: Mixing Fibres between East and West, 16th-20th Centuries", The University of Warwick in Venice, Palazzo Pesaro Papafava, Venezia, Italia, 16th March 2019)
[E] 「18～19世紀におけるフランスの「モード」と奢侈／半奢侈」(糸・布・衣の循環史研究会、ワークショップ「奢侈／半奢侈とファッション」、東洋大学、2019年6月16日)

○ 富 田 純 一

- [C] 「生産財のソリューション提案における開発分業パターンの検討—素材産業の事例—」『経営論集』第93号、pp.1-15. (東洋大学経営学部、2019年3月)
[E] 「再生可能エネルギー産業における国際競争力、アーキテクチャ、産業政策の相互作用モデルの検討—太陽光発電産業と風力発電産業の比較分析—」(JOMSA、第11回全国研究発表大会、東京経済大学、2019年9月4～6日)
[E] 「プロセス産業の生産現場における工程管理」(共著)(JOMSA、第11回全国研究発表大会、東京経済大学、2019年9月4日～6日)

○ 鳥 飼 裕 一

- [B] 『会計学と租税法の現状と課題』第10章 ビッグデータ、AIと監査の品質の向上 pp.135-147・菊谷正人編著(税務経理協会、2019年3月30日)
[C] 「会計、監査におけるデータ分析の活用」産業経理第79巻第3号 pp.37-52 (一般財団法人 産業経理協会、2019年10月25日)
[E] 「監査におけるデータ分析の活用」(グローバル会計学会、第2回大会、京都大学 吉田キャンパス、2019年6月2日)

○ 董 晶 輝

- [B] 『スモールビジネスの経営力創成とアントレプレナーシップ』第4章 「不確実性下の退出基準」(pp.60-72)、東洋大学経営力創成研究センター編(学文社、2019年3月20日)

○ 長 島 直 樹

- [C] 「新興国の顧客セグメンテーションに関する検討～ベトナム外食チェーンの顧客分析から～」『経営論集』第93号、13-27頁。(東洋大学、2019年3月)
[C] 「A Possible Approach to Understand Emerging Markets' Consumers

- before Market Entry: Examples from Food Chains in India」Proceedings for 2019 AIB Conference India Chapter, 1-25. (AIB India Chapter, 2019 年 4 月)
- [C] 「外食チェーンの新興国進出に先立つ現地消費者の理解～ベトナムでの外食チェーン展開を想定して～」『日本フードサービス学会年報』第 24 号, 6-23 頁.(日本フードサービス学会、2019 年 12 月)
- [D] 「平成 31 年 1-3 月期 中小企業景況調査報告書」1-30 頁 (全国商工会連合会、2019 年 4 月)
- [D] 「令和元年 7-9 月期 中小企業景況調査報告書」1-30 頁 (全国商工会連合会、2019 年 10 月)
- [E] 「新興国進出に先立つ現地消費者の理解～外食チェーン展開に即した試論」(日本フードサービス学会、研究部会、日本フードサービス協会、2019 年 2 月 20 日)
- [E] 「A Possible Approach to Understand Emerging Markets' Consumers before Market Entry: Examples from Food Chains in India」(Academy of International Business, India Chapter, 2019 India Chapter, Hyderabad, India, April 23, 2019)
- [E] 「外食チェーンの新興国進出に先立つ現地消費者の理解～ベトナムでの外食チェーン展開を想定して～」(日本フードサービス学会、第 24 回年次大会、東京海洋大学、2019 年 6 月 8 日)
- 長 島 広 太
- [C] 「クチコミとしての新聞投書 ―通信販売の新聞投書を事例として―」『経営論集』(第 93 号、pp.93-106) (東洋大学経営学部、2019 年 3 月)
- 中 野 剛 治
- [C] 「ベンチャー企業と大企業とのマッチング成立要件」(大原亨と共著)『現代社会研究』16, 41-50. (東洋大学現代社会総合研究所、2019.3.10)
- [C] 「Omiai: Japanese initial private offering」(大原亨と共著)『Annals of Business Administrative Science』18 (2) , 75-84. (Global Business Research Center、2019.4.15)
- [E] 「Process in matching event between start-ups and major enterprises.」(大原亨と共著) (Global Business Research Center, ABAS Conference 2019 Winter part 1、東京大学、2019.2.12)
- [E] 「The source of open innovation in Japanese manufacturing industry.」(Global Business Research Center, ABAS Conference 2019 Autumn Part 1、東京大学、2019.10.17)
- [E] 「How to reduce license costs in Japanese electrical industry.」(Global Business Research Center, ABAS Conference 2019 Autumn Part 2、東京大学、2019.11.11)

○ 西 澤 昭 夫

- [B] 『スモールビジネスの経営力創成とアントレプレナーシップ』担当箇所：第3章「タイにおけるもの作り SMEs の組織化—Thai Subcon の形成と展開—」、東洋大学経営力創成研究センター編（学文社、2019年3月20日）
- [C] 「Entrepreneurial Ecosystem 構築の陥穽—INS: 制度化への蹉跌—」『経営力創成研究』第15号、59 - 74 ページ（東洋大学経営力創成研究センター、2019年3月16日）
- [D] 書評 Jones, M., *A Civic Entrepreneur: the Life of Technology Visionary, George Kozmetsky*, Tower Books, 2018, 『ベンチャーレビュー』第34号、43-45 ページ（日本ベンチャー学会、2019年9月15日）
- [D] 「産学連携と企業家大学への変革」『かがやき』第31巻、1-2 ページ（公益財団法人りそな中小企業振興財団、2019年11月30日）

○ 西 村 忍

- [B] 『オリンピック・パラリンピックを哲学する—オリンピアン育成から実際の社会的課題まで—』分担執筆「Chapter17 オリンピックマーケティング—スポンサーシップを中心に—」（pp.161-169）（晃洋書房、2019年1月15日）
- [E] 「Sport-Related Concussion Recovery Time of Adolescent Athletes with and without Attention-Deficit Hyperactivity Disorder.」(Far West Athletic Trainers' Association, 2019 FWATA Annual Meeting and Clinical Symposia, San Diego, CA, 2019年4月26日)

○ 野 中 誠

- [E] 「プロジェクトの性質とアジャイルソフトウェア開発を通じて重視された価値との関係」（共著）（日本経営システム学会、第63回全国研究発表大会、神戸学院大学、2019年11月9日）
- [E] 「高い組織能力を有する組込みソフトウェアベンダー企業が低収益に陥るメカニズム」（共著）（日本経営システム学会、第63回全国研究発表大会、神戸学院大学、2019年11月9日）
- [E] 「金融業界におけるシステムマイグレーション事例の特徴分析」（共著）（日本経営システム学会、第63回全国研究発表大会、神戸学院大学、2019年11月9日）
- [E] 「中小企業におけるクラウド会計サービス移行の阻害要因」（共著）（日本経営システム学会、第63回全国研究発表大会、神戸学院大学、2019年11月9日）
- [E] 「音楽ストーリーミングサービス機能の魅力度に対するユーザーの認識」（共著）（日本経営システム学会、第63回全国研究発表大会、神戸学院大学、2019年11月9日）

○ 蜂 巣 旭

- [E] 「ダイナミック・ケイパビリティとは何か：組織を変える力を解明し、実践する」（国際ビジネスコミュニケーション学会、関東支部会、東洋大学、2019年1月26日）

日)

○ 藤 尾 美 佐

- [B] 『A Pragmatic Approach to English Language Teaching and Production』 Chapter 3 Differences in the quality of interaction between spoken and written communication (pp63-82) (風間書房、2019年12月20日)
- [C] 「JACET 関東支部特別研究プロジェクト④—都道府県・政令市における英語教育研究テーマに関する実態調査— (査読付 共著)」『Proceedings of the Japan Association for Applied Linguistics in JACET』 Vol. 1, pp. 38-45 (The Japan Association for Applied Linguistics in JACET (JAAL in JACET)、2019年1月)
- [C] 「教員養成課程コアカリキュラムの実態調査—大学教職担当者の見解から— (査読付 共著)」『JACET-KANTO Journal』 Vol. 6. pp. 23-41 (JACET (大学英語教育学会) 関東支部、2019年3月25日)
- [D] 「都道府県・政令市が目指す英語教育・学習者像」招待執筆 (JACET 関東支部特別研究プロジェクトチーム共著) 英語教育 3月号 pp. 33-39 (大修館書店、2019年3月5日)
- [D] 「英語教育コアカリキュラムは教員養成課程でどのように捉えられているか」招待執筆 (JACET 関東支部特別研究プロジェクトチーム共著) 英語教育 10月増刊号 pp. 91-97 (大修館書店、2019年10月5日)
- [E] 「The Roles and Impacts of Mindfulness in Corporate and Academic Training in Japan (Plenary Panel Session) , Association for Business Communication (ABC) Asia and the Pacific 16th Conference with World Communication Association, Massey University, Wellington, New Zealand、2019年7月11日)
- [E] 「The changes of intercultural awareness and attitude towards different cultures through overseas study」(The Japan Association for College English Teachers (大学英語教育学会)、The 58th International Convention、名古屋工科大学、2019年8月29日)
- [E] 「海外研修による異文化能力の向上と研修の長期的キャリアへの影響: 経営専攻の学生のケース」(国際ビジネスコミュニケーション学会 (JBCA)、第79回全国大会、活水女子大学、2019年10月12日)
- [E] 「Challenges of developing globally-minded leaders in Japan: In comparison with other countries (Group Panel Session: First Author)」(Association for Business Communication (ABC) 学会, The 84th Annual International Conference, The Westin Book Cadillac Detroit, USA, 2019年10月25日)
- [E] 「全国都道府県英語教育研究テーマの調査研究—全国市レベルの取り組み— (JACET 調査研究特別委員会共同発表: 委員長)」(The Japan Association for Applied Linguistics in Japan Association of College English Teachers (JAAL in JACET)、第2回 JAAL in JACET International Convention、高千穂大学、2019年11月30日)

○ 堀 田 真 理

- [D] 「2018年診療報酬改定をめぐる論点についての一考察」研究ノート『経営論集』(第94号・81頁-91頁)(東洋大学経営学部、2019年11月30日)

○ 増 子 敦 仁

- [D] 『検定簿記講義 2級商業簿記 2019年度版』その他 渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著 第6章、第17章および巻末付録の一部を担当(中央経済社、2019年3月30日)
- [D] 『検定簿記ワークブック 2級商業簿記』その他 渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著 第6章、第17章および巻末付録の一部を担当(中央経済社、2019年3月30日)
- [D] 『日商簿記ゼミ 2級商業簿記 教本』その他 蛭川幹夫・千葉啓司・増子敦仁・山浦裕幸・小野正芳著 全体を監修(実教出版、2019年5月20日)
- [D] 『日商簿記ゼミ 2級商業簿記 問題演習』その他 蛭川幹夫・千葉啓司・増子敦仁・山浦裕幸・小野正芳著 全体を監修(実教出版、2019年5月20日)
- [D] 『日商簿記ゼミ 2級工業簿記 教本』その他 蛭川幹夫・千葉啓司・増子敦仁・山浦裕幸・小野正芳著 全体を監修(実教出版、2019年5月20日)
- [D] 『日商簿記ゼミ 2級工業簿記 問題演習』その他 蛭川幹夫・千葉啓司・増子敦仁・山浦裕幸・小野正芳著 全体を監修(実教出版、2019年5月20日)
- [D] 『ここが変わった 日商簿記3級問題集』その他 日本商工会議所編 第1部 仕訳問題Iを担当(中央経済社、2019年8月1日)
- [E] 「税理士試験の現状と受験者数回復策」(日本簿記学会、第35回全国大会、中央大学、2019年8月24日)
- [E] 「有価証券報告書とは何か」(放送大学、渋谷 246 セミナー、放送大学東京渋谷 SC、2019年9月15日)

○ 宮 村 健 一 郎

- [C] 「P2P レンディングと中小企業金融」『経営論集』第93号 pp.123-137(東洋大学経営学部、2019年3月)

○ 室 山 泰 之

- [C] 「飼育ニホンジカを利用した聴覚と場所の連合学習に関する予備研究」『東洋大学紀要自然科学篇』(63巻、77-84頁)(3名の共著;筆頭著者)(東洋大学、2019年3月20日)
- [D] 「サルはなぜ人里に下りてきたのか」パンフレット シアターコクーン・オンレパートリー 2019『美しく青く』株式会社東急文化村、2019年7月11日)
- [D] 「奈良県天竜区の市街地に出没したニホンザルについて」コメント テレビ朝日「羽鳥慎一モーニングショー」(テレビ朝日、2019年7月24日)
- [E] 「屋久島西部低地林における過去20年間の野生ニホンザルの個体数変動」(日本霊長類学会、第35回日本霊長類学会大会、熊本、2019年7月13日)

○ 安 則 貴 香

- [B] 『オリンピック・パラリンピックを哲学するーオリンピアン育成から実際の社会的課題までー』分担執筆「Capter18 オリンピックとプロパガンダーーベルリンオリンピック概説」(pp.170-180) (晃洋書房、2019年1月15日)
- [D] 「「ダンス・教育・研究」考」ノート『ひすぽ』(No.104、pp.8-9) (スポーツ史学会・会報、2019年10月31日)

○ 山 口 裕 之

- [D] 「Changing Business Model Continuously: Tracing Secoma's Business Model Change」その他 Discussion Paper, Series A, 336, pp. 1-32. (Faculty of Economics and Business, Hokkaido Univ.、2019年2月)
- [D] 「セコマ：コンビニから総合流通業への転換」その他 Discussion Paper, Series B, 170, pp. 1-37. (北海道大学大学院経済学研究院、2019年3月)
- [D] 「セイコーマート：独自性の高いビジネスモデルの確立」Discussion Paper, Series B, 171, pp.1-26. (北海道大学大学院経済学研究院、2019年3月)

○ 山 本 聡

- [B] 「タイ製造業の現状とローカル・日系金型企業の成長」『素形材』(60巻6号、53-57) (一般財団法人素形材センター、2019年6月)
- [D] 「地酒業界、牛耳るあの大学 清酒、焼酎など比較」(共著) その他 日経ビジネスオンライン (日経 BP、2019年1月29日)
- [D] 「製茶業、静岡の利益率が鹿児島より低い意外な理由」(共著) その他 日経ビジネスオンライン (日経 BP、2019年3月29日)
- [D] 「【分析】他業種と比較。「吉本興業」を企業構造から考える」(共著) その他 Newspicks (2019年8月12日)
- [D] 「給油所運営会社、企業年齢50年以上が6割超」(共著) その他 日経ビジネスオンライン (日経 BP、2019年8月14日)
- [E] 「製茶企業の海外市場参入プロセスにおける生産農家との企業家的関係構築」(企業家研究フォーラム、春季研究会、大阪企業家ミュージアム、2019年3月19日)
- [E] 「中小ファミリービジネスにおける境界連結者の役割と起業プロセス」(共同) (日本中小企業学会、東部部会、専修大学、2019年6月22日)
- [E] 「製茶企業の海外市場参入プロセスにおける empathic な関係構築」(JICSB、中小企業研究ワークショップ、伊豆山研修センター、2019年8月25日)
- [E] 「Entrepreneurial Orientation and Innovation Performance: On the Role of Organizational Climate」(共同) (Continuous Innovation Network、20th International CINet Conference、University of Southern Denmark, Denmark、2019年9月9日)
- [E] 「中小ファミリービジネスにおける境界連結者の役割と起業プロセス」(共同) (日本中小企業学会、全国大会、愛知学院大学、2019年9月14日)

- [E] 「外食企業の海外市場参入プロセスにおける信念の変化と適応」(日本ベンチャー学会、第22回全国大会、広島経済大学、2019年12月7日)
- 吉 澤 容 一
- [B] 『Empowering Science and Mathematics for Global Competitiveness』 Value at Risk for the portfolio problem with copulas, pp.371-376, edited by Yuli Rahmawati and Peter Charles Taylor (CRC Press (Taylor & Francis Group)、2019年6月)
- 依 田 俊 伸
- [B] 『会計学・租税法の現状と課題』第21章 生命保険契約に関する課税上の取扱い・菊谷正人(税務経理協会、2019年3月30日)
- [B] 『日本会計教育学会 特別プロジェクト「税務会計教育における現状と段階的教育への試み 最終報告書」第5章 税法学者からみた税務会計、第9章 法人税法能力検定の意義と問題点・金子友裕(日本会計教育学会、2019年9月12日)
- [C] 「新収益認識基準が税務会計に与える影響」『會計』(195巻3号, pp.247-254)(森山書店、2019/3/1)
- [E] 「税務会計教育における現状と段階的教育への歩み(研究プロジェクト最終報告)」(日本会計教育学会、第11回全国大会、事業創造大学院大学、2019年9月12日)
- 李 振
- [C] 「Sales Effects of Online Product Reviews:A Comparison of Two Different Types of Sellers」『経営論集』93号 (pp. 65-79)(東洋大学経営学部、2019年3月)
- [C] 「Topic Features in Negative Customer Reviews: Evidence Based on Text Data Mining」The Review of Socionetwork Strategies (Online First Articles, pp. 1-12)(Springer、2019年7月(Online First))
- [C] 「Online Purchase Preference and Personal Characteristics: A Moderation Approach」International Journal of Electronic Commerce Studies, 10 (1) , pp. 1-21、2019年6月)
- [E] 「Store Location Strategy and Optimal Solution: A Simulation Study Based on GIS and Transaction Record Data」(IEEE International Conference on Data Mining、Data Mining for Services、中国(北京)、2019年11月)
- 劉 永 鵬
- [C] 「中国 ICT インフラ企業の海外進出とその落とし穴—中兴通讯(ZTE)のケースを中心として—」『経営力創成研究』(第15号、pp. 23-39)(東洋大学経営力創成研究センター、2019年3月)
- [C] 「米中貿易戦争」『グローバル経営』(No.428、pp. 16-19)(日本在外企業協会、

2019年5月)

- [D] 「平成ともに歩んだ30年」『グローバル経営』(No.426、p. 3) (日本在外企業協会、2019年3月)
- [E] 「中国 ICT 機器多国籍企業の国際化戦略とリスク管理」(多国籍企業学会、第12回全国大会、明治大学、2019年7月6日)
- [E] 「中国通信機器多国籍企業の国際化戦略とリスク管理—Huawei と ZTE の事例を中心に」(アジア文化研究所、第2回合同研究会、東洋大学、2019年7月13日)